

1 自然光が差し込む、明るい待合室。スタッフが笑顔で患者を迎える 2 白を基調とし、清潔感のある広々とした診療室



浪瀧歯科医院

歯科 / 矯正歯科 / 小児歯科 / 歯科口腔外科

浪瀧 文彦 副院長 Fumihiko Namitaki

2000年大阪歯科大学卒業。複数の歯科医院で研鑽を積んだ後、2008年より祖父母が開業した浪瀧歯科医院で現職を務める。一般歯科のほか、豊富な知識と経験を生かしインプラント治療や矯正歯科などの自費診療にも注力。なるべく抜歯をしない治療をモットーに、患者の歯を生産守るべく尽力する。



3 先端の歯科用CTを導入している



歯科用CTで精密な診断が可能に
体の負担を軽減し短時間で対応

インプラント治療などの自費診療に注力するにあたり、同院では1年ほど前に高性能の歯科用CTを導入。被ばく量が少ない上に、撮影やPC上での画像診断が短時間で完了するため、患者の身体的な負担を軽減することに加えスムーズに検査が行えるようだ。また、従来のCTに比べて画像が鮮明なことが大きなメリットで、よりの確な診断に役立つという。「わずかな差であっても機器によって画質が異なりますので、CTの精度にはこだわりました」と副院長。

松山市の中心部で、約75年にわたり地域の歯の健康を見守り続ける「浪瀧歯科医院」。同院を開業したのは、浪瀧文彦副院長の祖父母だ。「祖父母と現院長の父、そして私の3世代で、患者さんとそのご家族を長く診せていただいています」代々受け継がれてきたのは、忙しい中でも患者と真摯に向き合う姿勢。幼少期から診療風景を見てきた副院長は「その姿勢があったからこそ、当院は皆さんに愛されてきたのだと実感しています」と振り返る。診療においても一つ一つ大切にすることは、患者自身の歯を残すこと。「歯は臓器の一つであり、天然歯に勝るものではありません。患者さんの要望を踏まえつつ、極力抜歯をしない治療をモットーとしています」

地域住民に歯に関する知識を持つてほしいとの思いから、同院の玄関前に豆知識が書かれたブラックボードを設置。持ち帰り自由な院内新聞も備え、啓発活動に取り組む。「ブラックボードなら、通りがかりに気軽に見やすいと思います。知識を頭の片隅に留め、必要に応じて活用してもらえたらうれしいです」同院では新たに歯科用CTを導入し、副院長の得意分野であるインプラント治療や矯正歯科などの「噛み合わせを整える治療」に注力。インフォームドコンセントにのっとり、費用の概算提示やセカンドオピニオンの無料相談に対応する。「歯の健康に対する意識をしっかりと持っていただき、より良い口腔環境を維持してほしいです」

患者に愛され3世代続く老舗歯科医院
自費診療や啓発活動など新たな挑戦も

Data



Tel 089-921-2917
Add 松山市三番町3-4-4
プレジール・ヴェレ1F
Parking 有(3台)
Close 日/祝

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00 ~ 13:00	●	●	●	●	●	●	—	—
15:00 ~ 19:00	●	●	—	●	●	—	—	—

※予約制
※臨時休診あり



もっと詳しく



Map P146 B-2